



24 新潟県立新発田南高等学校

所在地 〒957-8567 新発田市大栄町 3-6-6
 〔最寄の交通機関〕 JR羽越線新発田駅下車徒歩 15 分
 電話 0254-22-2178
 F A X 0254-26-8397
 校長名 中島 俊哉
 課程 全日制
 創立 大正6年5月10日
 生徒数 954名 (平成29年5月1日現在)



学科	学年		1年		2年		3年		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
普通科	57	104	77	84	61	93	195	281		
機械工学科	144	16	40	0	36	1	116	1		
電子情報工学科			35	3	38	1	113	4		
建築工学科			36	7	35	4	95	27		
土木工学科			38	5	35	4	113	9		
計	201	120	226	99	205	103	632	322		

※1学年工業科は、くくり募集です。



入学者選抜 (平成30年度予定)

学科	募集定員	一般選抜	学校独自検査	備考
普通	160	調査書：学力検査 (3：7)	筆答検査B	
工業	160	調査書：学力検査 (4：6)	PRシート	一括の「くくり募集」とする。

※募集定員は平成29年度のもので、平成30年度募集学級数及び募集定員が確定した後、ホームページを更新します(10月予定)。

1 一人一人の個性を磨いて進路の自己実現を目指そう

本校は、今年100周年を迎えた伝統校で、普通科と工業科が併設された特色ある高等学校です。普通科、工業科ともに上級学校への進学実績を着実に伸ばしています。

普通科では、2年生から文系と理系に分かれて学習します。3年生では、さらに進路希望に応じた選択科目を設定し、大学進学に向けた指導をしております。工業科は、入学時は学科を決めず一括くくり募集とし、2年生以降、機械工学科、電子情報工学科（電子制御コース、情報システムコース）、建築工学科、土木工学科の5コースに分かれます。それぞれのコースには、普通科目を多く取り入れ大学進学を目指すアカデミックコースと、工業専門科目を多く取り入れ工業のスペシャリストを目指すプロフェッショナルコースが開設され、進学と就職の両方に対応したきめ細かな指導を行っております。卒業生は、在学中に取得した各種検定・資格を活かし、県内はもとより全国の官公庁や産業界で技術者として活躍しています。

今までの伝統の上に、さらに未来に向かい飛躍を続けている本校で、個性を磨いて自分の力を伸ばしてください。

2 教育目標

誠実：強くたくましい心身と豊かな情操を養い、常に人間性の豊かさを求めて努力する人間を育成する。

自主：真理と正義を愛し、知性を高め文化の進展に寄与する個性豊かな人間を育成する。

創造：勤労と責任を重んじ、技術技能を磨き、創造力を養い、よりよい社会をつくる人間を育成する。

3 目指す学校像のコンセプト

- (1) 大学等への進路希望達成に向けた手厚い指導をします。
- (2) 工業教育においては就業体験等に積極的に取り組み就職率100%を続けます。
- (3) オンラインスクール新潟未来プロジェクト「芝TAC」を通じて地域に根ざしたキャリア教育を推進します。

4 学校生活

(1) 教育課程・授業など

- ① 8時50分にSHRが開始され、授業時間は55分で、午前3時間、午後3時間の授業です。
- ② 普通科では、2年生から文系と理系に分かれて学習します。3年生では、さらに進路希望に応じた科目選択ができます。
- ③ 1年生では、学習は基礎学力の充実と家庭学習の習慣化を目指して週末課題(宿題)等が出題されます。2年生では、応用力の養成に努めています。3年生では、2学期末考査終了後、センター試験対応の特編授業を実施しています。各学年とも長期休業中や放課後に補習を行っています。
- ④ 毎日の朝学習による課題学習、平日の放課後や土・日曜日は、自習室を開放しています。土・日曜日でも学校で自主学習する生徒が大勢います。
- ⑤ 工業科では、普通科目と専門科目の授業の他に現場見学、就業体験があります。大学への進学希望者はアカデミックコースを選択すれば、大学受験に必要な普通教科を多く学習することができます。
- ⑥ 工業科の生徒は、各種検定・資格取得に向け、積極的に学習しています。取得可能な国家資格・検定は次のようになっています。これらの資格を取ることによってジュニアマイスターの称号を得られます。

時 間 割	
SHR	8:50～ 9:00
1限	9:00～ 9:55
2限	10:05～11:00
3限	11:10～12:05
昼休	12:05～12:50
4限	12:50～13:45
5限	13:55～14:50
6限	15:00～15:55

技能検定検定（技能士）、二級ボイラー技士、ガス溶接技能講習、電気工事士
危険物取扱者、建築施工管理技士、測量士補、土木施工管理技士 等

(2) 生徒会活動等

主な行事は体育祭、球技大会、文化祭（南高祭）です。生徒会役員、生徒が主体となって活発に活動しています。体育祭では、本校伝統の応援合戦に各団とも力が入り、衣装や集団演技が見ものです。部活動は19の運動部、13の文化部、4つの同好会等があり、各部とも活動が盛んです。平成28年度は陸上部が全国大会に、バドミントン部、柔道部、卓球部、電子情報研修部、土木研修部、音楽部が北信越大会、音楽部が西関東大会に、それぞれ出場しています。

主な学校行事 4月 入学式・学習合宿 6月 体育祭 7月 球技大会
9月 南高祭（文化祭） 10月 修学旅行 3月 卒業式

5 進路状況

(1) 進路実現を目指して

進路実現を達成するため、入学時から進路指導に力を入れています。

① 学習習慣形成学習

学習方法の習得と学習習慣の定着を目的として、1年生は普通科、工業科とも学習合宿を実施しています。この宿泊合宿を通じて学習習慣形成を図るきっかけとなるような指導を行っております。

② 進学補習

全学年において、朝学習と長期休業中の補習を行います。ほぼ全員が進学を希望する普通科では、3年の6月から毎日、放課後補習を行います。また、2学期末考査終了後、センター試験対応の特編授業を実施します。

③ 模擬試験

普通科では1、2年生全員が全国模試を受験し実力を測ります。3年はセンター試験模試、小論文模試、医療系模試、全国統一模試、看護医療模試など志望校に応じた模試を受験し対策を立てます。工業科も進学希望者は模試を、就職希望者は2年生から公務員模試を受験し対策を立てます。

④ 進学講演会、分野別進路指導等

普通科、工業科とも、生徒と保護者を対象に講演会を行います。また、国公立大学、私立文系大学、私立理系大学、短大、医療系専門学校、一般専門学校等、生徒の志望する分野ごとの進学指導にも力を入れています。さらに、推薦入試受験者に対応するため、面接指導や小論文指導にも力を入れています。

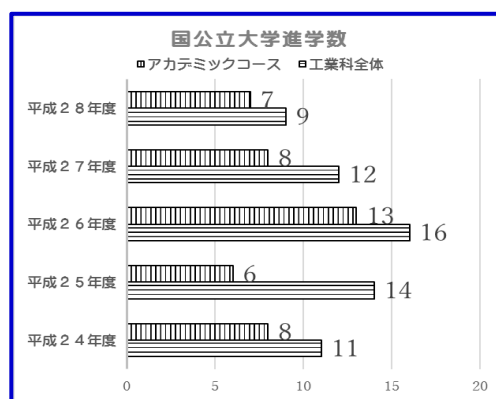
⑤ 企業見学などキャリア教育の推進

工業科の生徒は、学科別に企業(現場)見学を実施します。インターンシップ、デュアルシステム等のキャリア教育を積極的に実施しています。普通科では、看護体験や福祉体験などに参加しています。

(2) 工業科の進学について

平成24年度以降の国公立大学合格者数は毎年10人を越えており、今春は9人の生徒が国公立大学に進学しました。アカデミックコースを設置したことで受験での学力、学習意欲や進学意欲が向上しています。一括くくり募集したことにより工業科が一体となって進学指導ができるようになった成果がみられます。

新潟県以外の国公立大学への受験者も増加傾向にあり、今後も合格者数の増加を目指します。



(3) 平成29年3月卒業生の主な進学・就職先(カッコ内は人数)

大 学【普通科(109)、工業科(47)】

国公立大：新潟大、上越教育大学、新潟県立大、新潟県立看護大、岩手大、山形大、富山大、福井大、帯広畜産大、高崎経済大、都留文科大など

私 立 大：法政大、中央大、東洋大、日本大、駒澤大、専修大、大東文化大、東海大、神奈川大、関東学院大、埼玉工業大、関西学院大、新潟医療福祉大、新潟青陵大、新潟薬科大、新潟国際情報大、金沢工業大、東京電機大、東北工業大、千葉工業大、新潟工科大 など

短 大【普通科(11)、工業科(6)】

新潟青陵短大、日本歯大新潟短大、明倫短大、三重短大、山形県米沢女短大、川口短大、大妻女子短大、近大高専、新潟工業短大 など

専門学校【普通科(19)、工業科(24)】

国立新潟付属看護専、新発田病院付属看護専、川口市立看護専、国際メディカル専、長岡赤十字看護専、大原簿記公務員専、新潟公務員法律専、近畿大学工業高等専、新潟情報専、新潟日建工科専 など

公共職業能力開発施設【普通科(1)、工業科(6)】

新潟職業能力開発短期大学校

就 職【普通科(3)、工業科(74)】

新潟市役所、自衛隊、東北電力、トヨタ自動車、東日本旅客鉄道、東日本高速道路、クラレ新潟事業所、新潟トランス、日本シイエムケイ、水澤化学工業中条工場、イシカワ、加賀田組、小野組、福田組、亀田製菓、新潟造船、新潟原動機、THK新潟、中条ジャムコ、日立産機システム中条事業所、グローバルウェーハーズジャパン、第一建設工業、皆川組 など

《在校生からのメッセージ》

新発田南高校は普通科と工業科が併設された全国的にも珍しい特色を持つ学校です。

普通科は大学進学を目指す生徒が多く、補習や模擬試験などもたくさん実施され、受験に対応する学力を磨いています。

工業科は機械、電子情報、建築、土木の4科に分かれ、それぞれにアカデミックコースとプロフェッショナルコースがあります。資格を多く取得すると「ジュニアマイスター」という名誉ある称号を授かることができます。

先生方は、進学や就職について、丁寧に個別指導して下さいます。

体育祭や文化祭などは、上級生のリーダーシップのもと、学校全体でとても盛り上がります。部活動は、どの部活もとても活発に行われています。運動部も文化部も北信越大会、全国大会を目指して活動しています。

新発田南高校の生徒たちは挨拶がよく、元気がよく、進路の自己実現に向けて文武両道を目指し、充実した高校生活を送っています。

新発田南高校で、思い出に残るような高校生活を一緒に過ごしましょう。

6 学校納付金について

学校納付金については、次のようなものがあります。

(1) 合格者登校日での納付金（普通科 60,600 円、工業科 62,550 円）

- ① 教科書（普通科 7,900 円、工業科 9,980 円）
- ② 副教材・教具（普通科 22,440 円、工業科 15,350 円）
- ③ 内履・外履（セットで 8,910 円）
- ④ 体操着 13,200 円
- ⑤ 柔道着（工業科男子希望者のみ 4,200 円）
- ⑥ バッジ 350 円
- ⑦ 個人用ロッカー（普通科 7,800 円、工業科 9,900 円）

(2) 入学料 5,650 円 授業料 118,800 円（年間）

(3) 修学旅行積立金（5月～ 各月 8,600 円）

(4) その他（生徒会費 9,000 円、PTA 会費 5,500 円、冷房費 5,200 円、学年諸経費 68,000 円、育英会費 10,000 円 等）

※上記は、平成 29 年度 1 年生の実績額です。

※授業料等の減免制度、就学支援金等については事務室にお問い合わせください。

7 オンラインスクール新潟未来プロジェクト

(1) 事業名 芝TAC～地域活性化プロジェクト～

(2) 事業目的

新発田市内の専門高校（新発田農業、新発田南工業科、新発田商業）が連携して、地域の企業や大学・専門学校との協力を仰ぎながら新発田地域の活性化を図るとともに地域に貢献できる人材を育成する。

(3) 事業内容

事業展開するための仮法人を設立し、地域のニーズに応えるためにマーケティングを行い、地域企業・大学・専門学校との協力を得ながら専門高校の専門性を生かした新商品の企画・開発を行い、地域に提供し活性化を図る。また、地域と関連したデザイン・アイデアなどの知的財産の開発を行い、地域に貢献する人材を育成する。

(4) 事業計画

- ① 3校の特性を生かした野菜の製造実験プラント「野菜工場」を立ち上げる。
- ② 3校連携による商品開発やインターネット販売等の活動を実施
 - 3校連携による模擬株式会社の企画や運営、システムを立ち上げる。
 - 地域の課題解決に向けた新商品開発や新サービスの提供などの実践に取り組む。
- ③ 収穫祭等の地域イベントの企画・運営
 - イベントの立案や企画、運営に参加することにより、起業意識をもつ人材育成につなげる。
 - 地域と連携したイベントを開催する。
- ④ 6次産業化に対応した実践的な知識と技術の習得
 - 地域産業の現状及び課題を把握するために、先進的な取組を行っている産官等と連携する。
 - 「課題研究」で習得した知識・能力を上級学校で、さらに向上させ、地域のリーダーとして地域産業の活性化を図る人材育成につなげる。